

足すテナビリティ™

ニチレキは、新たな価値を「プラス」するサステナビリティへ。



傷んだ路面を再利用して、道路強靱化。
テクノロジーの“二重奏”で
実現します。

道路を根本的になおす時には、まず傷んだ舗装を取り去った後、新たな材料を現場に搬入して埋め戻す工程が必要でした。しかし、ニチレキの「スタビセメントRC工法」なら傷んだ舗装をその場で再利用。廃棄を8割以上※1減らすことができます。さらに、この工法で構築した基盤の上に長寿命な舗装材「スーパーシナヤカファルト」で舗装すると、他と比べて2倍以上※2も長持ちする道がつけられるのです。丈夫な道は補修回数も減るので、補修工事で発生するCO₂を約48%※3も削減できます。また、「スタビセメントRC工法」は、地震にも強いので防災・減災といった効果も期待できます。廃棄するしかなかった傷んだ舗装をリサイクルする。さらに、これまでにない強靱さを加えていく。それが、新たな価値を「プラス」する、私たちの「サステナビリティ」。つまり、ニチレキの『足すテナビリティ』なのです。

※1 既設の舗装を撤去し新たに舗装をする「打換え工法」と比較（一般的な地方道レベル、設計CBR=4、大型車交通量N5） ※2 「打換え工法」と比較 ※3 ライフサイクル50年で「打換え工法」と比較



動画で見る！
スタビセメント
RC工法



動画で見る！
スーパーシナ
ヤカファルト

